

「ソウル宣言の会」呼び掛け人・ツアー参加者会議（11月11日(火)）報告

作製 若森

開催日：11月11日(火)18:00～20:30

開催場所：中野事務所

出席者：平山昇さん、富沢賢治さん、林泰義さん、土田修さん、瀬戸大作さん、柳沢敏勝さん、丸山茂樹さん、井上良一さん、牧梶郎さん、若森資朗、

1. 11.2 プレフォーラムの反省

- (1)参加者約250名
- (2)報告者の顔ぶれから見て時間が足りなかった。1日としては詰め込みすぎ。内容としては二日分くらいのボリュームがあった。質疑応答等、討論の時間もほしかった。
- (3)折角の機会であり、ソウル市及び組織委員会の報告がもっとあって良かった。
- (4)内容の評価は概ね高かった。
- (5)若い人の参加者が少なく、今後、大学等の研究機関との連携が課題。
- (6)今回の成果をこれで終わらせるのではなくどのように生かしていくかが課題。また、その期待も大きい。

2. 11月17日(月)～20日(木)のソウルツアーの説明。

- (1)スケジュール確認 —— 別紙資料参照
 - ①17日(月)ソウル副市長主催夕食会：近本さん、津田さん、土田さん、藤井さん、森田さん、中川さん、柳沢さんが参加
 - ②18日(火)ソウル市市長主催昼食会：丸山さんが参加
 - ③19日(水)組織委員会委員長主催昼食会：若森が参加
 - ④組織委員会から提出を要請されている「ソウル宣言の会」のセッション等で使用する資料、報告者の Attendance Form 等、の確認
→ 至急用意して、組織委員会に送付
 - ⑤「ソウル宣言の会」主催の交流会への韓国の参加者は「生協全国連合会設立のための協議会のメンバー」を中心に10名超。日本側、通訳等含めて50名超を予定。
- (2)参加者等、別紙参照
- (3)フォーラムの内容に関して —— 別紙参照
- (4)その他
 - ①設立総会で採択を予定されている GSEF 憲章(第一次案)を巡って意見交換
 - ②ヨーロッパ、米国、韓国、日本等での社会的企業や非営利団体の概念の捉え方の違いについて意見交換。
 - ③そのこと(概念の捉え方の違い)が、それぞれの国での行政と社会的企業や非営利団体との距離感の相違として現れている(ヨーロッパではあまり連携が考えられていない。日本、韓国では連携が比較的受け入れられている)。
 - ④憲章の採択にあたり、この点が論議になる可能性が大きい。日本でも NPO や社会的企業に関する論議を深めていく必要がある。

3. ソウル市のフォーラム後の「ソウル宣言の会」活動に関して、事務局からの提案。

- (1)11.2 プレフォーラム、及びソウル大会の報告集(本 or 誌)の作成に関して

①資料は揃えていくので、みなさんの協力で本を出す方向で検討したい。

②来年の6月を目処に計画していきたい。

(2) 報告集会の開催について

①大阪（関西）、仙台（東北）、東京（関東）で、最低行いたい。

②第一回目を大阪で2月頃予定したい。

③そのあと、仙台、東京で。

(3) 従って「ソウル宣言の会」としての活動は、継続する方向で検討していきたい。

(4) ソウル市の組織委員会から「カール・ポランニ財団アジア支局」設立に関し、参加と協力要請されている。今後、内容を把握した上で検討していきたい。

4. その他

(1) 財政について

①11.2 プレフォーラムは、各方面の協力でプラスに。

②ソウル市大会の事後処理までは+維持。

(2) その他